

松前町

No.87

2015年11月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

議会だより

9月定例会



2P 9月定例議会

4P 決算認定

8P 委員会ニュース

新議員での議会スタート

94億円の使い道は?

マイナンバー制度 ほか

12P

一般

質問

- ・ 義農顕彰館の今後の見通しは
- ・ マイナンバー制度の周知とセキュリティ対策は
- ・ 道路整備における整備条件の優先順位は
- ・ 松前町の財政指数は
- ・ 子育て支援策の拡充は

備えあれば避難訓練もスムーズに(西高柳地区)

8月25日に任期満了による町議会議員選挙が告示され定数と立候補者届出数が同数で、初めての無投票当選

新議会

町制60周年に初のスタート

こんなことが決まりました

9月定例会は、9月15日から21日間の会期で開かれました。

審議内容の主なものは以下のとおりです。

9月定例会

9/15 ~ 10/5

★平成27年度9月補正予算案

一般会計 1億2,201万3千円増額
特別会計 1,313万円 増額

報告1件、決算認定2件、条例2件、予算関係4件、他議決を求めるもの1件、合わせて10件の議案が提出され、各常任委員会に付託。

本議会場においても十分な議論を経て、全案件を全会一致または賛成多数で可決した。

(詳細は P8~11 に)

★決算認定2件

- ①平成26年度松前町歳入歳出決算
- ②平成26年度松前町水道事業会計決算

2日間に分けて委員会で慎重に審査を行い、本会議において認定した。

(詳細は P4~7 に)

★議会運営委員会より提出議案1件

改正内容：議会欠席の要件の規定
・議員活動しながら出産しやすい環境を整え、女性の政治参加を促すために明文化。
・町独自の規定として日数を要する疾病は予め欠席届を提出することができる。

(詳細は P18 に)

◎区域外道路の認定の承諾をめぐり議論

JR車両基地・貨物駅移転に伴い、県が整備を進めている地下道が松

前町と伊予市にまたがらる。今後、両市町で共同管理をするため、松前町の一部区域を伊予市道として認定することへの承諾を議会に求めるものである。(道路法第8条3項)

反対 県主体のこの工事は松前町と伊予市にまたがっている。

前町と伊予市にまたがらる。今後、両市町で共同管理をするため、松前町の一部区域を伊予市道として認定することへの承諾を議会に求めるものである。(道路法第8条3項)

両区域の道路を延長させて道路認定後、管理費を両自治体で折半しようとしている。共同経営的な考えは後々トラブルの原因となる。

討論を行った後、賛成多数で可決した。

しかも、伊予市の議会承認を見ずに即決で町議会に承認を求めるのは許せない。

賛成

この地下道は松前町と伊予市との境界を挟んで整備され、照明器具や雨水排水ポンプなどが設置される。

これらの施設は一体的に利用するため、双方の道路を境界から相手方に延長し、管理義務を重複させることで費用を両市町で負担しようとするものだ。道路法の規定に基づき道路認定の承諾を求めるもので、負担の適正化の上からも必要なことだ。

白石町長 退任表明で涙

議会最終日、閉会前に白石町長は12月10日の任期満了で引退すると述べた。

「町制16年を振り返り、住民からの続投の思いを受け、難しい決断だったが、年齢や妻の病気などは無理…」と声を詰まらせ、涙の表明となった。長い間、お疲れ様でした。

(位置図はP18ページ)

- 8月30日 選挙会にて当選者決定
- 9月 3日 当選証書授与
新議会スタートに先駆け
て、議会事務局による議
員研修会
- 9月 7日 臨時議会で、以下のとお
り人事が決定



就任あいさつ



議長
岡井 馨一郎



紅葉の季節となりま
したが、皆様にはご健
勝のこととお喜び申し
上げます。

先町の町議会議員選挙
では、無投票により新
しい議員が選出されま
した。皆様の負託にお
答えすることを約束
し、日々の活動に邁進
してまいりる所存でござ
います。

さて、改選後の臨時
議会におきまして、議
員各位のご推挙により
議長の要職に就くこと
になりました。その職
責の重大さを心にしつ
かりと受け止め、精励
してまいりますのでよ
ろしくお願い申し上げ
ます。

2年後には、えひめ
国体が開催され、当町
では3種目の競技が実
施されます。えひめ国
体が立派に実施される
よう配慮していきたい
と思えます。

松前町民が、より良
く幸せに暮らせるよう
議会としての役割を自
覚し、皆様のご期待に
答えて行きたいと思っ
ております。

今後とも、議会に対
しまして一層のご支
援、ご協力をお願い申
し上げ、就任のあいさ
つといたします。

議会人事

議会の人事構成が決ま
りました。

議長 岡井 馨一郎
副議長 八束 正

総務産業建設常任委員会

委員長 藤岡 緑
副委員長 影岡 俊範
委員 伊賀上明治
委員 三好 勝利
委員 岡井 馨一郎
委員 加藤 博徳
委員 住田 英次

予算決算常任委員会

委員長 早瀬 武臣
副委員長 田中 周作
委員

文教厚生常任委員会

委員長 稲田 輝宏
副委員長 城村トキ子
委員 早瀬 武臣
委員 八束 正
委員 村井 慶太郎
委員 金澤 浩
委員 田中 周作

議会運営委員会

委員長 伊賀上明治
副委員長 城村トキ子
委員 早瀬 武臣
委員 八束 正
委員 藤岡 緑
委員 稲田 輝宏

議会広報常任委員会

委員長 八束 正
副委員長 藤岡 緑
委員 稲田 輝宏
委員 影岡 俊範
委員 金澤 浩
委員 田中 周作
委員 住田 英次

一部事務組合

伊予市松前町共立衛生
組合議会議員

三好 勝利
藤岡 緑
村井 慶太郎
田中 周作

伊予地区ごみ処理施設 管理組合議会議員

早瀬 武臣
加藤 博徳
住田 英次

伊予市・伊予郡養護 老人ホーム組合議会議員

城村トキ子
影岡 俊範
金澤 浩

伊予消防等 事務組合議会議員

伊賀上明治
八束 正
稲田 輝宏

※議長は全組合議会議員
となる。

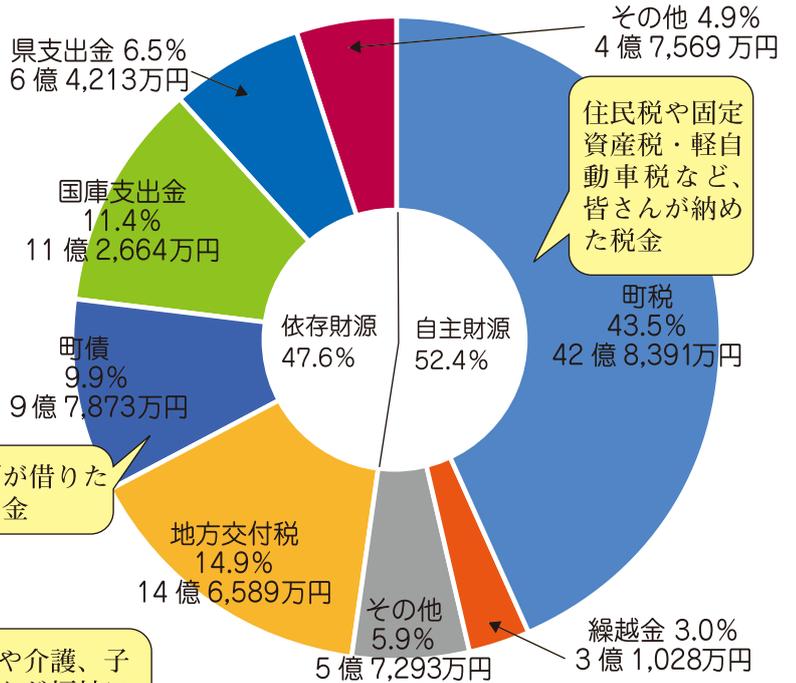
平成 26 年度 決算認定

一般会計

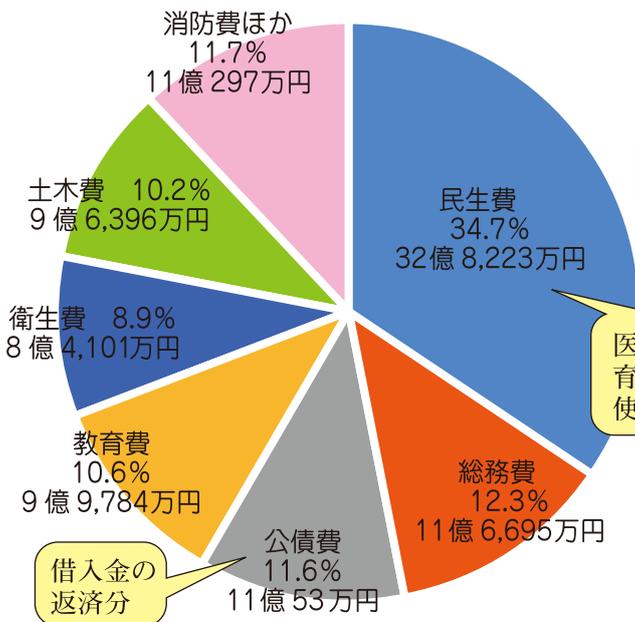
94 億円の使い道は!?

予算決算常任委員会で2日間かけて審査した。
 厳正な審査の末、平成 26 年度松前町歳入歳出、水道事業会計の決算を認定した。

歳入 98億5,623万円



歳出 94億5,551万円



平成 26 年度 町の財政成績表

- ・ 財政力指数 (前年比) 0.729 (+0.004)
- ・ 経常収支比率 87.5% (-0.5)
- ・ 実質公債費比率 11.4% (-0.7)

※ 1万円未満は切捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

そのほかの会計別決算状況

(単位：円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	36億6,150万	35億866万
公共下水道事業特別会計	5億5,863万	5億4,524万
介護保険特別会計	26億4,639万	25億8,907万
後期高齢者医療保険特別会計	4億473万	3億8,844万
水道事業会計	収入	支出
収益的収支	4億1,010万	4億3,761万
資本的収支	9,667万	2億971万

【財政力指数は】

指数が高いほど自主財源の割合が高い。昨年度より若干の改善。

【経常収支比率は】

財政の弾力性を示す指標。低いほど政策に使える財源が多い。平成26年度はわずかに改善。

【実質公債費比率は】

収入に対する負債返済の割合。少ない方がよい。平成26年度は4年前より徐々に減ってきており、健全な状況といえる。

こんな事業が行われた

(主な事業)

※青字は新規事業
黒字は継続事業

■総務費

- ・避難所用防災資機材整備事業 245万円
- ・松前町避難行動要支援者名簿作成事業 61万円

■民生費

- ・臨時福祉給付金事業 7,542万円
- ・子育て世帯臨時特例給付金事業 3,906万円
- ・放課後児童健全育成事業 2,197万円

■衛生費

- ・PCB廃棄物処理対策事業 1,080万円
- ・不法投棄未然防止事業 209万円

■農林水産業費

- ・(農業振興)日本型直接支払事業 2,288万円
- ・農地集積推進事業 60万円

■商工費

- ・地場産業推進事業 899万円

■土木費

- ・道路ストック総点検事業 663万円
- ・橋梁長寿命化修繕事業 3,344万円

■消防費

- ・消防団防火着購入事業 367万円

■教育費

- ・学校耐震化事業 2億8,912万円
- ・国体施設整備事業 8,407万円

平成26年度事業の特色

(歳入)

- ・町税収入は前年度と比較して企業の業績回復などで1億7,225万円の増となったが、結果的に国からの補助金である地方交付税全体で991万円の減となった。
- ・消費税の増税に伴う交付金は前年に比べ5,636万円の増になった。(平成26年4月1日より)
- ・消費税の増税に伴う低所得者、子育て世帯への負担緩和策として臨時給付金が3億788万円の増。

(歳出)

- ・衛生費について、ごみ処理管理組合の施設整備などに係る借入金返済が一部終了した。前年度から1億1,775万円の減となる。
- ・商工費について、商店街街路灯LED化工事の完了。夏まつり雨天中止などで1,764万円の減となる。
- ・土木費について、幹線町道整備事業(西古泉筒井線)、橋梁長寿命化修繕事業の進捗を図るため全体で前年度より2億4,670万円の増となる。

滞納対策で公平性を高め、更なる経営努力を
いかに適切な行財政運営をするかが鍵

Q & A

決算審査の
質疑から

総務産業建設所管の審査より

Q ふるさと納税の実績と今後の取り組みは。

A 平成26年度の実績は、予算額を上回っており更なる取り組みとして、お礼の品物の種類を増やし興味や関心を持ってもらえる取り組みをする。

Q 町営住宅収納率低下は。

A 年度を超えての納入があり平成26年度の収入にならなかつたことや納入意識の欠如した人が多かつたためである。今後納付の誓約書を取るなどし、収納率の向上に努める。



ふるさと納税のお礼の品物アラカルト

Q 日本型直接支払事業の取り組みは。

A 町内の全地区に事業の内容について説明を行い平成26年度は11地区に交付を行った。他の地区からも相談や問い合わせがあり、平成27年度は新たに西古泉地区が取り組んでいる。

Q 不法投棄未然防止事業の成果は。

A 監視カメラの設置により不法投棄者を1件通報した。また、不法投棄が減っており、事業の効果が現れている。

Q 少額の随意契約の内容は。

A 入札参加業者選考委員会で審査を行い、50万円以上の契約は町のホームページで公表し、適正、透明性が確保されている。

Q 公共下水道への未接続者の対応は。

A 工事を行う前に、各家庭を回り説明をしているが、高齢者だけの世帯では「何年使用するかわからないのに接続できない」などの理由が多く、対策に苦慮している。

水道事業会計決算の審査より

Q 経費削減の一つとして検針回数を2カ月に1回にしては。

A 漏水などの発見が遅くなり水道利用者個人の負担が大きくなるため、今後も月1回の検針を続ける。



不法投棄ストップ

ここから発進!みんなが待っている給食は



文教厚生所管の審査より

Q 放課後児童クラブ保育料の滞納は。

A 平成25年度より増加しているが、出納閉鎖後に納入されるが、当該年度の収入にならなかつたためである。うっかり納付を忘れた方が多いので、口座振替を推進していきたい。

Q 給食センターの管理状況は。

A 国の指導を受け、民間委託を推進していく方針であるため、正規職員の採用を控えた結果、パート職員の割合が高まった。



口腔ケアをしっかりと

民間委託を行うにあたっては、経費以外にも、アレルギー対策などのサービス面への対応も含めて事業者を選定したい。

Q 介護予防事業の内容と計画は。

A 歯科衛生士会と理学療法士会による複合予防事業を岡田地区で実施した。平成27年度に北伊予地区、平成28年度に松前地区と順次事業を実施する。

Q 低所得者に対する介護サービスの内容と周知は。

A 所得に応じ高額医療制度が利用でき、また、町独自で利用者負担の一部を補助する制度がある。低所得者に対する負担軽減策は町ホームページや町広報誌で紹介しているほか、町内のケアマネージャなどに周知している。

Q 国民健康保険税の値上げの理由は。

A 実質単年度赤字になるので、平成26年6月に4.9%の値上げを行った。原因は、医療費の増加のためである。対策として、成人病防止に向けた特定健診を推進している。

Q 夜間照明施設使用料の滞納は。

A 使用者が任意団体で法的措置が取れない。代表者に毎年催告書を送付しているが返送されるため、現在、不良債権として処理を進めている。

各委員からの指摘事項

- 介護サービスの利用への周知は、インターネットが利用できない方にも配慮した方法を検討すべき。

- 少額な随意契約についても透明性、公平性を図るため厳正に行うべき。

- 夜間照明使用料の滞納については、未納にならない徴収システムを考えるべき。

- 町営住宅の使用料や保育料の未収など納税意識欠如の人には、公平性の観点から厳正に対応すべき。

- 給食センターの民間委託は経費削減効果を精査するとともに、子どもたちの安全、安心を考えるべき。

- 水道料金改定の前に経営努力が必要であり、そのことにより住民に理解を求めらるべき。

- 公共下水道の整備は計画を立て行っており、接続の対策をしっかりと考えるべき。

委員会 ニュース

計補正予算

今年度中に

ホッケー場が完成



ホッケー場完成間近



問 ホッケー場の公認の過程は。

答 国体開催のためには日本ホッケー協会が指定する機関で検査を受け、公認を取得する必要があります。この期間は10年間であり、その後も必要な場合には、再度、検査を受ける。

問 避難行動要支援者の名簿作成事業の内容は。

答 70歳以上の独り暮らしの方、高齢者だけの世帯、要介護3以上の方などの名簿登録対象者に対し、支援が必要か調査を行う。

来年3月ごろには新たな名簿ができ、更新は1年ごとに行う。

問 JR車両・貨物駅等周辺整備対策事業の内容は。

答 車両基地の整備は県が主体となり、車両基地の周辺の町道、水路などの整備は、国県の補助を受け、町が主体となる。

問 公共下水道事業で工事費の減額が多いが、入札の結果、最低価格を下回り、失格があったのでは。

答 国の補助金の減額に伴い、一部、工事の見送りを行った事業費の減額が含まれている。

問 国民健康保険特別会計補正予算で、前年度決算に伴い国及び一般会計に返納する財源が繰越金であるのは、昨年度が黒字決算であり、昨年の保険料の税率改定は必要なかったのでは。

答 国民健康保険特別会計補正予算で、前年度決算に伴い国及び一般会計に返納する財源が繰越金であるのは、昨年度が黒字決算であり、昨年の保険料の税率改定は必要なかったのでは。

この繰越金がなければ単年度収支は約4,600万円の赤字となる。その原因は、年々増え続ける医療費であり、適正に運営するためには、状況を見ながら適正な時期に保険料の改定は必要である。

答 平成26年度は、前年度からの繰越金が約1億9,900万円あり、約1億5,000万円の黒字決算であった。



積極的に受診を



松前保育所



宗意原保育所



整備予定地

平成27年度 一般・特別会

問 松前・宗意原保育所に代わる新たな保育所建設は。

答 耐震性などの問題から新たな保育所整備を急ぐ必要があることから民営化で検討していた。しかし、事業者が決定しなかつたため、町立でNTT社宅跡地に整備を行う。

平成27年度一般会計補正予算概要

■ 予算総額

(単位：円)

区 分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	96 億 4,024 万	1 億 2,201 万	97 億 6,225 万	1.3%
前年度	95 億 2,420 万	1 億 4,396 万	96 億 6,816 万	1.5%

■ 松前町一般会計補正予算(第3号) 主要事業

(単位：円)

科 目	項 目	金 額
総 務 費	避難行動要支援者名簿更新事業	56 万
	社会保障・税番号制度事業	1,486 万
民 生 費	介護保険施設整備補助金	793 万
農 林 水 産 業 費	土地改良事業(町単)	607 万
	県営土地改良事業負担金	1,168 万
土 木 費	一般町道等整備事業	2,750 万
	JR 車両基地・貨物駅等周辺整備対策事業	3,675 万
教 育 費	国体運営事業	174 万

委員会 ニュース

総務 産業建設

⑤7 松前町個人情報保護条例の改正

要旨

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」いわゆる番号法により、すべての国民に個人番号が付加される。そのため、個人番号を含む個人情報

マイナンバー制度導入で

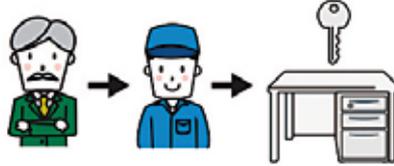
●担当者の明確化
担当者以外がマイナンバーを取扱うことがないように、取扱責任者や事務取扱担当者など担当者を明確にしましょう。



●取扱担当者を決め
他の人は情報にアクセスできない仕組みづくり



●適切な教育
従業員に対するマイナンバー制度概要の周知など、従業員への教育も大切です。



(政府広報パンフレットより)

をより厳格に取り扱うため条例の改正が必要になった。

問 条例第8条の3で、個人情報を提供することができるとは番号法第19条各号に該当する場合があるが、具体的にどのような場合か。

答 第19条には14項目が規定されており、例えば第1号では、個人番号を利用する事務従事者が個人番号利用事務を処理するために本人、または代理人などに提供する場合などが該当する。

(関連18ページ)
(全員一致で可決)

文教厚生

マイナンバーは 重要な個人情報

⑤8 松前町手数料条例の改正

要旨

マイナンバー制度導入に伴い「通知カード」や「個人番号カード」などの再交付手数料を追加する。(初回は無料) また、「住民基本台帳カード」は、今後、新規発行をしないので、交付手数料を削除する。

問 氏名変更された場合は、再交付が必要か。

答 氏名や住所の変更は個人番号カードの裏にある変更記載欄へ記入するので必要ない。

問 手数料の根拠は。

答 通知カードの手料は500円。内訳は、簡易書留郵送料の400円とカードの作成料。個人番号カードの手料は800円。内訳は、ICチップ入りカード700円と申請書作成料。



職員による説明会(北黒田地区)

問 再交付に必要な期間は。

答 重要な個人情報なので紛失などの場合は、まず、警察へ届出をしてから再発行の手続きになるので具体的な期間は不明である。
(賛成多数で可決)

通知カードは簡易書留で本人へ郵送し、個人番号カードは役場で直接本人に渡す。



9月定例議会

提出議案の各議員 賛否表

※ ○賛成 ●反対 ー議長

議案番号・議案名など		議員名													
		住田 英次	田中 周作	金澤 浩	影岡 俊範	稲田 輝宏	城村 トキ子	村井 慶太郎	藤岡 緑	加藤 博徳	八束 正	岡井 馨一郎	早瀬 武臣	三好 勝利	伊賀上 明治
提2	松前町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
55	平成26年度松前町歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
56	平成26年度松前町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
57	松前町個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
58	松前町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
59	平成27年度松前町一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
60	平成27年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
61	平成27年度松前町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
62	平成27年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
63	区域外道路の認定の承諾について	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	ー	○	○

5議員が登場

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

村井 慶太郎 議員 (13ページ)

- ◆義農顕彰館の今後の見通しは
- ◆庁舎周辺の駐車場の確保は
- ◆副町長2人制の検証と今後は
- ◆南黒田工場用地の今後の計画は

八束 正 議員 (14ページ)

- ◆マイナンバー制度の周知とセキュリティー対策は
- ◆地方版総合戦略の進捗状況と位置づけは

藤岡 緑 議員 (15ページ)

- ◆道路整備における整備条件の優先順位は
- ◆子どもを取り巻く環境の安心、安全の確保は
- ◆コミュニティ防災の重要課題は

影岡 俊範 議員 (16ページ)

- ◆松前町の財政力指数は
- ◆地方創生における適正人口とその対策は

金澤 浩 議員 (17ページ)

- ◆子育て支援策の拡充は
- ◆液状化・津波の防災対策は
- ◆安保法案と自治体のかかわりは

いっぱん
質問

町政を問う

一般質問とは・

・ 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。

・ 議員一人あたりの発言時間は45分以内です。

・ 登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。



どこに駐車すればいいの？



村井 慶太郎 議員

義農頭彰館の今後の見通しは

財政の見通しがないと簡単に決定できない

問

町長みずからが顕彰館建設を切り出し、また、議員提出議案により決議を行っている義農頭彰館の今後の見通しを伺う。

農作兵衛翁は、町民の誇りであるとともに、自らを犠牲にしても他人のためという生き方を通じた。この考えを町政の中でもずっと継承していくべきだと思

う。 長く伝えていくためにも顕彰館を建てる必要があると思う。この考えに議員も賛同してもらい、また町内のいろいろな会でもこの話を私はしてきた。

町長
麦種を枕にみずからの命を後世のために捧げた義

農作兵衛翁の人柄や生き方をもっと多くの住民に知らせるとともに、後世に

ただ、建てるためには、かなりの費用が掛かるので、財政の見通しがないと簡単に決定できない。

庁舎周辺の駐車場の確保は

既存施設の整備・整理により確保を検討

問

庁舎北の駐車場がなくなった現在、土日祝日には駐車スペースがなく、路上駐車はもちろん、庁舎前の歩道上の駐車は当たり前のように行っている。

庁舎北の駐車場が大問題になってきている。今後の駐車場対策を伺う。

の整備や役場の敷地内を整理により、敷地内で少しでも駐車スペースを拡張できないか検討している。

総務部長

本町は一極集中型の庁舎であるため、今で

役場や文化センターなどの敷地以外で駐車場を確保することは難しい状況だ。松前公園体育館前

は、歩行者の安全面からも好ましくなく、また、駐車禁止を徹底していきたい。

庁舎前の歩道上への駐車は、歩行者の安全面からも好ましくなく、また、駐車禁止を徹底していきたい。



八東 正 議員

個人番号 ○○○……○○○
 生年月日 ○年○月△日
 性別 女
 氏名 番号花子
 住所 △県○市○町1-1-1

※通知カードイメージ



※個人番号カードイメージ

マイナンバー制度の周知とセキュリティ対策は

積極的に地域説明会をし、セキュリティにも万全を期す

問

来年1月からマイナンバー制度が始まる。制度の内容を理解していない人が多いようだが周知の方法は。

町民課長

また、個人情報流出や悪用につながる対策が必要だが、どのようなセキュリティ対策を考えているか。

セキュリティ対策として町では、個人番号を含む特定個人情報はインターネットに接続していない。さらに、専用回線でデータをやり取りする場合も個人番号は符号に置き換えられるため、個人番号が回線を通ることはなく流出することはない。

周知方法として制度を解説するDVDを役場のロビーで放映したり、地区で開催される集会で積極的に説明を行っている。情報の届きにくい独り暮らしの高齢者には、地域の見守り推進委員と協力し個別に訪問する。

地方版総合戦略の進捗状況と位置づけは

第4次総合計画との整合性を図り実施する

問

昨年、国は「まち・ひと・しごと創生法」を制定した。人口減少に歯止めをかけるため、今年度中に地方版総合戦略の策定が必要だが、進捗状況と松前町第4次総合計画との位置づけは。

副町長

総合戦略は住民、産業界、大学、金融機関、マスコミなどで構成する推進会議を設置し、意見や提言を頂き実効性のある総合戦略の策定に向け更なる検討を進めている。第4次総合計画は平成22

年3月に策定し10年間の方向性を示している最上位の計画である。今回策定する総合戦略では、総合計画との整合性を図りながら、特に少子化対策や産業振興など、まち・ひと・しごと創生に関連する施策を重点的に取り上げ実施する。



守ろう！子どもたちの笑顔と安心・安全



藤岡 緑 議員

道路整備における整備条件の優先順位は

現地調査を行い事業個所に偏りが無い選定から

問

- ① 財政的制限のある中で道路整備に優先順位を付ける時は。
- ② 高齢者など交通弱者に対する道路整備は。
- ③ 通学路の道路表示などの定期的なチェックは。

副町長

- ① 現地調査を行い老朽化の程度、利用度、地元合意の形成度など勘案し、事業個所の偏りがない選定をしていく。
- ② 交通安全対策が重要なので、特に歩道を新設または改良する時は、勾配や段差など交通弱者にも配慮していきたい。
- ③ 8月に通学路の緊急合点検を実施した。危険と判断される個所は整備がほぼ完了している。また、松前小学校の通学路の土川沿いの町道西74号線は道幅が狭いため、今年度から歩道整備に着手する予定だ。

子どもを取り巻く環境の安心、安全の確保は

心の問題には相談員、不審者対策は地域で

問

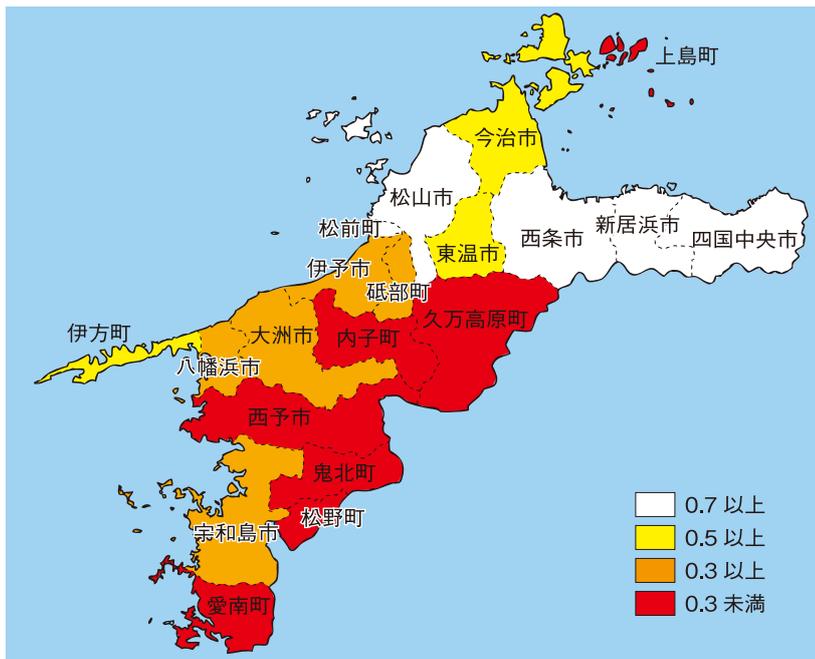
- ① 18歳以下の自殺者が休み明けに集中している。学校や家庭の問題を抱え悩む子どもたちへの対策は。
- ② 下校時や夜間の不審者対策は。

教育委員会事務局長

- ① 各小・中学校ごとに相談員1名、更に中学校にはスクールカウンセラー1名、町内全体で連絡調整役のソーシャルワーカー1名を配置し、臨床心理面など専門的分野からもサポートして問題の解決に努めている。
- ② 教員も含めた補導委員30名で月4回以上の補導巡回活動、更に青色防犯パトロール隊79名による地域の協力、連携で事件、事故を防いでいる。



影岡 俊範 議員



平成26年度決算における県内各市町の財政力指数(愛媛県ホームページの資料より)

松前町の財政力指数は

指数は高位であるが、財政が裕福とはいえない

問

松前町の財政力指数(0.73)は県下の20市町村で3位(平成27年度)であり、財政に弾力性があると言われる。住民福祉の向上のための独自の政策は、

松前町の財政力指数 充実と住民の福祉が向上につながると思う。町村で3位(平成27年度)であり、財政に弾力性があると言われる。住民福祉の向上のための独自の政策は、

財政課長

インフラ整備の充実と財政力指数の向上の両立こそが生活基盤の

財政力指数は県内20市町と比べて高いが、弾力性をみる指標に経常収支率比があり、平成26年度

投資効果など事業の必要性を十分検討し、優先順位をつけ選択と集中により効果的な事業実施を図る。

地方創生における適正人口とその対策は

少子化対策・子育て支援が最重要と考える

問

① 現状は3万人を維持しているが、理想とする人口はどのようになっているのか。地方創生の総合戦略に掲げる人口減少問題の克服に向けた主要な施策の重点は、
② 独自の6次産業の育成、創出の計画は、

副町長

① 現在策定中の人口ビジョンでは2060年目標を2万5千人としている。総合戦略で少子化対策子育て支援が最重要と考える。地域産業の活性化による雇用創出、安心・安全で活力のある町づくりな

どバランスの取れた取組が必要と考える。
② 平成24年に推進協議会を設立した。地域ブランド創出・イベント開催を実施し、農業は裸麦、漁業はハモ加工を手掛けている。



大地震には液状化対策も



金澤 浩 議員

子育て支援策の拡充は

義務教育時の医療費無料化は必要だが国に期待

問

子どもの医療費助成対象を広げる市区町村が急増し、全国65%以上が中学卒業まで通院も無料だ。砥部町は約4千万円の財源で実施だ。

若者の移住促進策としても重要な施策だが、今後の町の取組みは。

保健福祉部長

愛媛県下では中学卒業まで通院を含め無料化を実施しているのは5町で、10月から1市が実施予定だ。子育て世代の医療費負担軽減を図ることは必要な事と考えているが、本来国が一律に対応すべきものと思うが、今

後の国の取り組みに期待している。

町が独自に中学校卒業までの医療費を無料化するためには年間約5千万円近い財源が必要となることから、今後、財政状況をしながら考えていく。

液状化・津波の防災対策は

土地所有者による地盤改良。国や県の情報待ち

問

9月6日実施の防災訓練の想定(マグニチュード9、最大震度7)で、液状化の範囲予測とその対策は。

また、県が管轄する河川を津波が遡上する事による被害のシミュレーションはあるのか。

総務部長

昨年度、町・国・県所有の地盤のボーリングデータを整備し、データ所在地の液状化の危険度をまとめています。年内予定のデータ開示を参考に液状化に対する対応は、土地所有者による地盤改良しかない

のが現状だ。また、河川の津波遡上による被害に関し、国管轄の重信川を始め、県管轄の国近川、長尾谷川、大谷川などもシミュレーションは無い。国や県が今後資料を提供してくれない限り、町単独で被害想定は模倣策定は出来ない。

報告事項

⑤ 平成26年度決算に係る
財政指標の報告

平成26年度の早期健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類はいずれも適正に作成されているとの監査委員の報告があった。
(左表を参照)

平成26年度 健全化判断比率及び資金不足比率報告		
健全化判断比率	平成26年度 (%)	早期健全化基準 (%)
実質赤字比率	—	14.26
連結実質赤字比率	—	19.26
実質公債費比率	11.4	25.0
将来負担比率	92.8	350.0

※ 実質収支と連結実質収支が黒字のため健全財政です。
実質赤字比率と連結実質赤字比率はありません。

会計名	比率名	平成26年度 (%)	経営健全化基準 (%)
水道事業会計	資金不足比率	—	20.0
公共下水道事業特別会計	資金不足比率	—	20.0

※ 資金不足額が無いため、
資金不足比率はありません。

条例の改正

⑤⑦ 松前町個人情報保護
条例の改正

- ・ 特定個人情報及び情報提供等記録を追加
- ・ 目的外利用の制限
- ・ 特定個人情報情報の提供は、番号法第19条の範囲でのみできる。
- ・ 利用の停止等の請求ができる事由の追加
- ・ など、特定個人情報 の適正な取扱いを行うための改正。

委員会提出議案

② 松前町議会会議規則
の改正

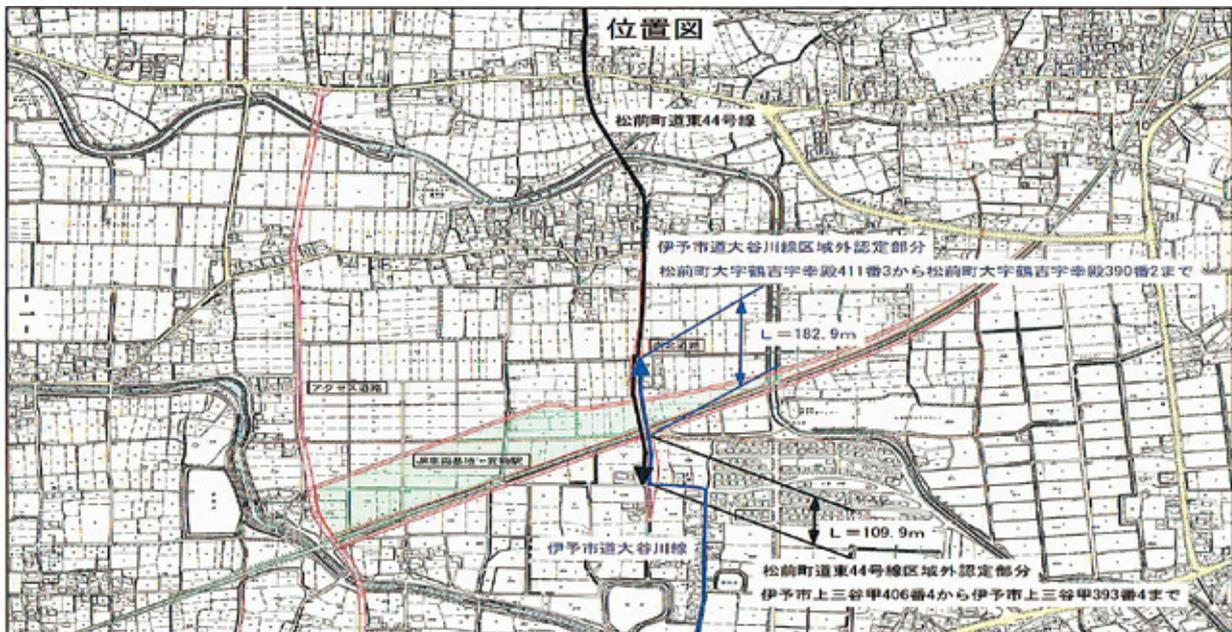
- ・ 議会欠席の要件を新たに規定する。
- ・ ★提案理由 社会情勢などを勘案して、出産及び治療に日数を要する疾病に関し次の項目を規定する。

議員が出産及び疾病のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。
(全員一致で可決)

議会広報委員会からのお知らせ

好評だった表紙と関連記事の裏表紙上段の記事については、産業界から少し視野を広げて、各地域での様々な団体の活動にスポットを当て、紹介記事としてリニューアルしました。

今回の人事で新人4人を配した布陣で取材活動を展開しますので、よろしくお願います。



【区域外道路の認定承諾図】

町民の声

スポーツで

愛顔を育む

北川原 ハミーママ

我が家の子どもたちはスポーツ少年団でサッカーやミニバスケットボールを始めるきっかけを、

周りの友人や知人からいただきました。いざ始めさせてみると、いろんなことがありました。上の子のサッカーの時は、

お当番や遠征の車出しを大変と思った記憶より、我が子が一生懸命になつてボールを追いかけて仲間という姿を見るのが楽しかったです。下の子が始めたミニバスケットボールでもそれは同じです。

また、学年を重ねるごとにチームの結束もでき、我が子が上達する姿を見るのも楽しみになつてきます。そして何よりどんな時も、目線

を変えずにひたすら同じ事を熱心に指導してくださるコーチたちに、たくさん経験させたいと思っています。改めて思うのは、子どもたちにとつて楽しい場所であり、体力向上にも役立つスポーツ少年団の活動は、とても有意義で大変良かったと思っています。

子どもがスポーツを親しむきっかけは、子ども自身がキャッチして帰つ

てきます。親として出て来るところから理解して応援してきたことは、決して間違つてなかつたと思つています。

これからもスポーツを楽しむ子どもたちの愛顔が、松前のまちいっばいに拡がっていけばいいなあと願ひながら...



傍聴席

一般質問を傍聴して

徳丸 N・Y

以前、委員会を傍聴した際、来なければ良かったと思うような内容だっただけに、今回は少し期待をもって傍聴に望んだ。

シーンとした少し緊張感が感じられる中、定刻に開会した。質問する議

員は堂々と、はっきりとした口調で、傍聴者にも聞き取りやすかつたのではないかと思つた。答弁において町長は、自信のある姿勢が見られたように思つた。ただ、理事者の答弁は書いてあるものを棒読みで、聞き取りづらい所もあつたように思う。

また、内容から少し離れてくると、答えられない場面も見られた。議長

たかに見られた場面もあつたように思う。今回は時間の都合もあり、二議員の質問しか傍聴できなかったが、以前傍聴した時に感じた不信感にとられるようなことはあまりなかつた。(カメラが入っていたからかも。)

質問内容に関しては、予算の問題や緊急を要する問題など前向きに検討している答弁もあり、実現できるよう期待

したい。

松前町のさらなる発展を心から願ひます。



「町民の声」をお寄せください

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは11月末です。

投書多数の場合は、委員会において掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

(500字程度で必ずお名前・ご住所・ご連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。)

【宛先】
松前町筒井631
議会広報常任委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。多くの方のみなさんの傍聴をお待ちしています。(次回は12月中〜下旬の予定です。)

本会議は、町ホームページでライブ中継を行つています。

また、議会終了後、録画配信も行つています。ご覧ください。





松前町で生きる & みんなで支える

防災意識は備えある暮らしの中で育てたい



9月27日 西高柳地区
総合防災訓練で挨拶
する坂本武弘会長

9月7日 松前町総合訓練にて
避難所訓練でおにぎり200食分を準備



自主防災会を立ち上げ

来年9年目を迎える西高柳地区

設立後、巨大地震・大雨暴風洪水など全国的な大災害を間接的に経験した。

防災・減災の大切さを住民全体で意識し、備えることの重要性を共有する中で、この組織は避難・救命救護など基本的訓練を繰り返し行ってきた。

今も防災士5人(うち女性3人)が、計画段階から関わり実践的活動を続けている。

～5分～10分時、

犠牲者ゼロを目指して

まちの話題

サロン5月(子育て)

～アンファン～

★ 昨年度、アンファン(子育てサロンの愛称)は、子どもたちが健やかに育つようなお手伝いを目的に始まりました。

★ 徳丸集会所で、毎月1回、最終水曜日の午後3時から5時まで、乳幼児とその保護者・小学生を対象に活動しています。運営委員・愛護部役員・地域の方がボランティアで参加者の話しや遊びの相

手をします。

★ 子どもたちは、異年齢の仲間や大人とのふれあいを楽しみ、賑やかに、のびのびと笑顔で遊んだり、教わったりしています。

★ お母さんたちは、同じ徳丸に住んでいても面識のなかった保護者や地域の方と子どもや世間の話しをして、ゆっくりとすごします。

★ これからも、地域を挙げて子どもたちを見守り、安心して参加できる楽しい子育てサロンを目指します。



編集後記

私たち新人議員にとって初めての議会が終了しました。

町民目線の間接を忘れずに議員活動を行って行かなければと、気の引き締まる思いです。

議会だよりは、町民の皆さんと議会との大きな橋渡し。より読みやすく、興味を持っていただける紙面を目指して、新しい委員会のメンバーと共に進んでいきます。(住田 英次)

議会広報常任委員会

- 委員長 八東 正
- 副委員長 藤岡 緑
- 委員 稲田 輝宏
- 委員 影岡 俊範
- 委員 金澤 浩
- 委員 田中 周作
- 委員 住田 英次



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。